



知ってる？ 日本の食料事情 2022

～食料自給率・食料自給力と食料安全保障～



令和4年12月
農林水産省

目次

1章

日本の食料事情

① 日本の食料自給率・食料国産率	…	1
② 食生活の変化	…	3
③ 食料自給率の推移	…	4
④ 食料消費構造の変化	…	5
⑤ 農業生産基盤の変化	…	8
⑥ 主要農産物の輸入先	…	9
⑦ 日本の食料自給率の水準	…	10
⑧ 食料の潜在生産能力（食料自給力）とは	…	11
⑨ 食料自給力指標（令和3年度）	…	12
⑩ 食料自給力指標の見通し（令和12年度）	…	14

2章

世界の食料事情

① 増加する世界人口と穀物需給の推移	…	15
② 経済成長による飼料穀物需要の拡大	…	16
③ 変動する穀物生産量と国際価格の動向	…	17
④ 輸出国もいざという時は自国内の供給を優先	…	18

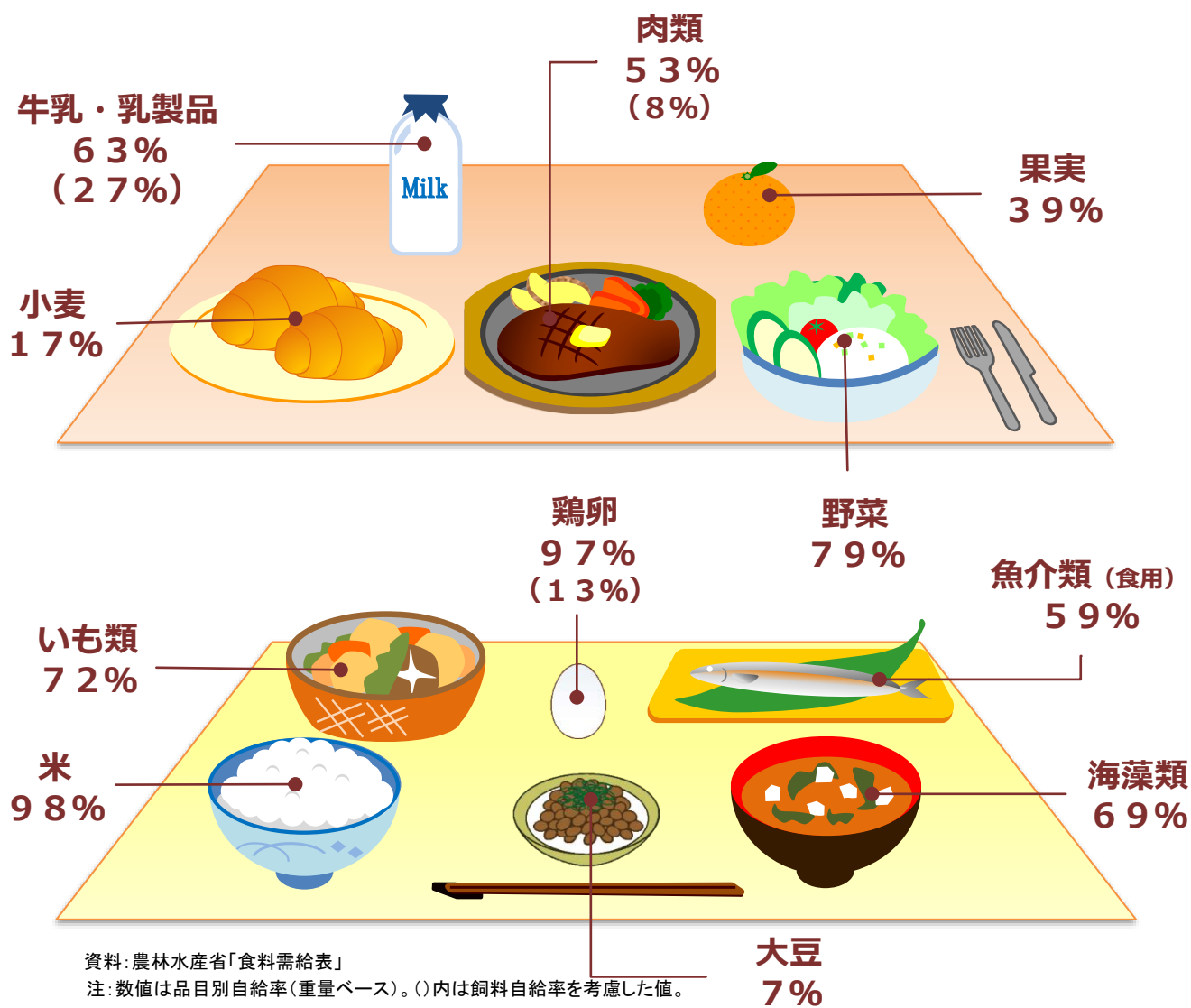
3章

食料の安定供給に向けて

① 食料安全保障の基本的な考え方	…	19
② 食料自給率等の目標の設定	…	21
③ 食料自給率目標の達成に向けて	…	22
④ 「緊急事態食料安全保障指針」について	…	23
⑤ 食品の家庭備蓄について	…	24
⑥ 新たな国民運動「ニッポンフードシフト」	…	26

我が国の2021年度の食料自給率（国内の食料全体の供給に対する国内生産の割合）はカロリーベースで38%です。

■品目別の自給率（2021年度）



■食料自給率（2021年度）

	カロリーベース	生産額ベース
食料自給率	38%	63%
食料国産率	47%	69%

コラム1. 食料自給率・食料国産率とは

■ 食料自給率

食料自給率とは、国内の「食料消費」に対する「国内生産」の割合を示す指標であり、分子を国内生産、分母を国内消費として計算されます。食料自給率の計算上、輸入原料や輸入飼料を用いて生産した国産食料は、国産に含みません。例えば、小麦粉であれば、国内で製粉されたものでも、輸入された小麦を使っていれば、国産に含まれません。また、畜産物については、輸入飼料による国内生産分は国産に含まれません。

【食料自給率の計算式】

$$\begin{aligned} \text{食料自給率} &= \frac{\text{国内生産}}{\text{国内消費仕向}} \\ &= \frac{\text{国内生産}}{\text{国内生産} + \text{輸入} - \text{輸出} \pm \text{在庫増減} \pm \text{イン(アウト)バウンド}} \end{aligned}$$

食料自給率には、品目別自給率と総合食料自給率があります。

- (1) 品目別自給率は、特定の品目について重量ベースで計算したものです。
- (2) 総合食料自給率は、食料全体について品目ごとに単位（供給熱量及び生産額）を揃えて計算したものであり、①供給熱量ベース（生命と健康の維持の観点からエネルギー量で表したものと、②生産額ベース（経済的価値に着目し金額に換算して表したもの）の2種類があります。

■ 食料国産率

食料自給率は、食料安全保障を図る上での基礎的な指標として、「国内生産」を厳密にとらえるため、輸入飼料による畜産物の生産分を除いて計算しています。

それに対し、食料国産率は、飼料が国産か輸入かにかかわらず、畜産業の活動を反映し、国内生産の状況の評価する指標として、輸入飼料による畜産物の生産分を除かずに計算しています。

食料国産率の目標（供給熱量ベース、生産額ベース）は、令和2年食料・農業・農村基本計画において、飼料自給率の目標とあわせて設定されました。

食料自給率の計算上、輸入飼料を用いて生産された国産畜産物は、海外から輸入した畜産物と同様に自給率にカウントされていません。

このため、

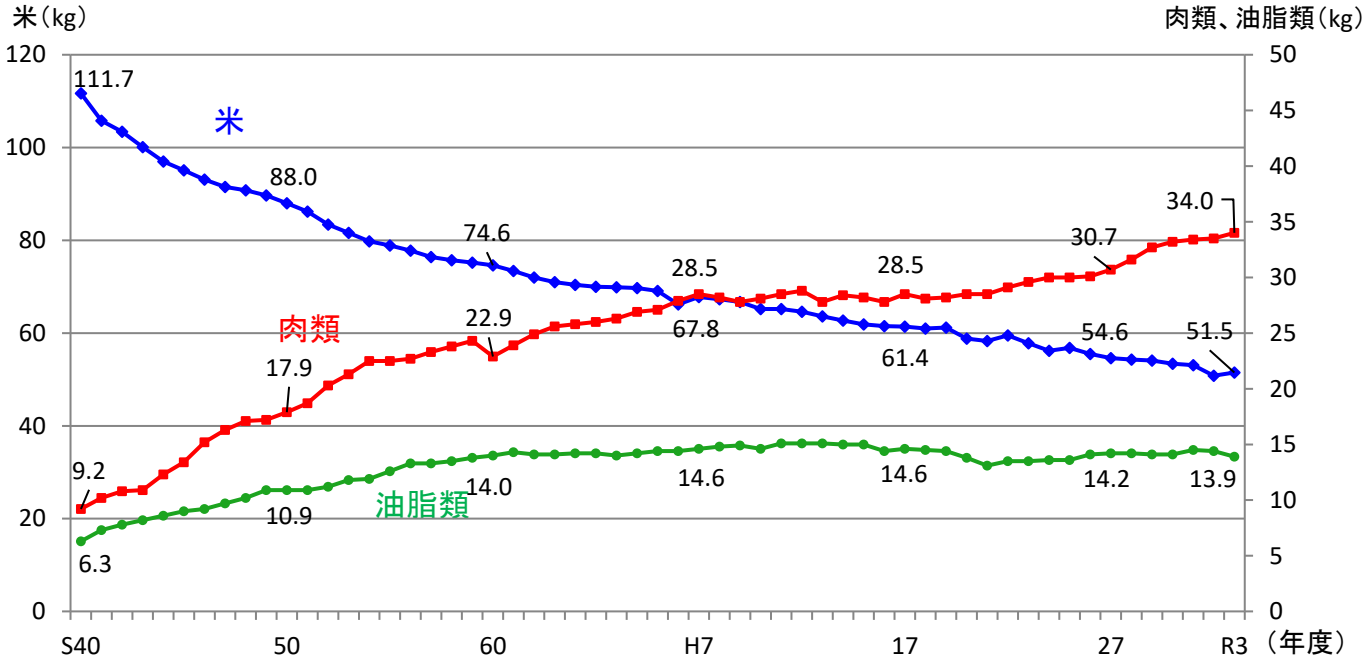
- (1) 需要に応じて増頭・増産を図る畜産農家の努力を反映し、
- (2) 日ごろ、国産畜産物を購入する消費者の実感に対応するとともに、
- (3) 不測時において、輸入畜産物の供給不足時には国産畜産物で対応し、また輸入飼料の供給不足時には畜産物を食用に回し、飼料需要を削減することで対応するという、畜産物の国内生産の役割を評価する観点から、
飼料が国産か輸入かにかかわらず、国内で実際に生産された畜産物は国産とみなして、食料全体の供給に占める国内生産の割合を示したものが「食料国産率」です。

1章

食生活の変化

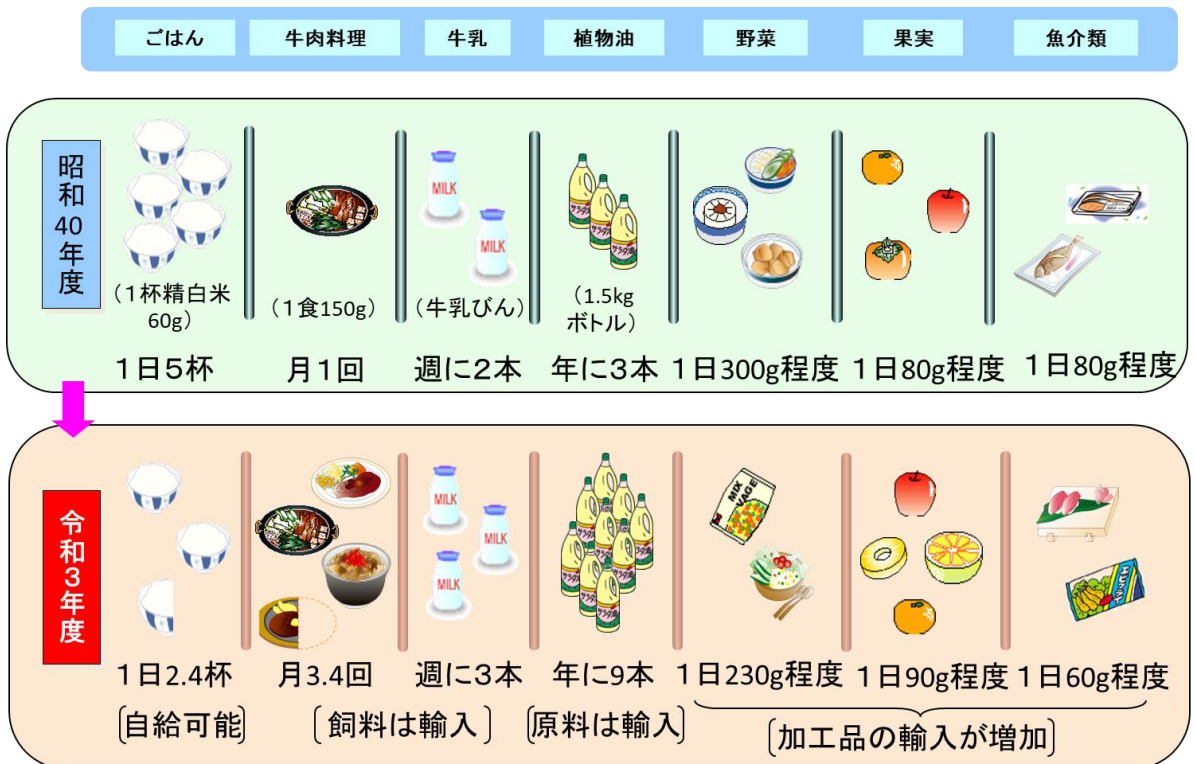
我が国の食料消費は、時代とともに大きく変化してきました。
食生活の変化により、米の消費が減少する一方で、畜産物や油脂類の消費が増大してきました。

■ 米、畜産物、油脂類の1人・1年当たり消費量の変化



資料:農林水産省「食料需給表」
注:1人・1年当たり供給純食料を記載。

■ 食生活の変化のイメージ (1人当たり消費量の変化)

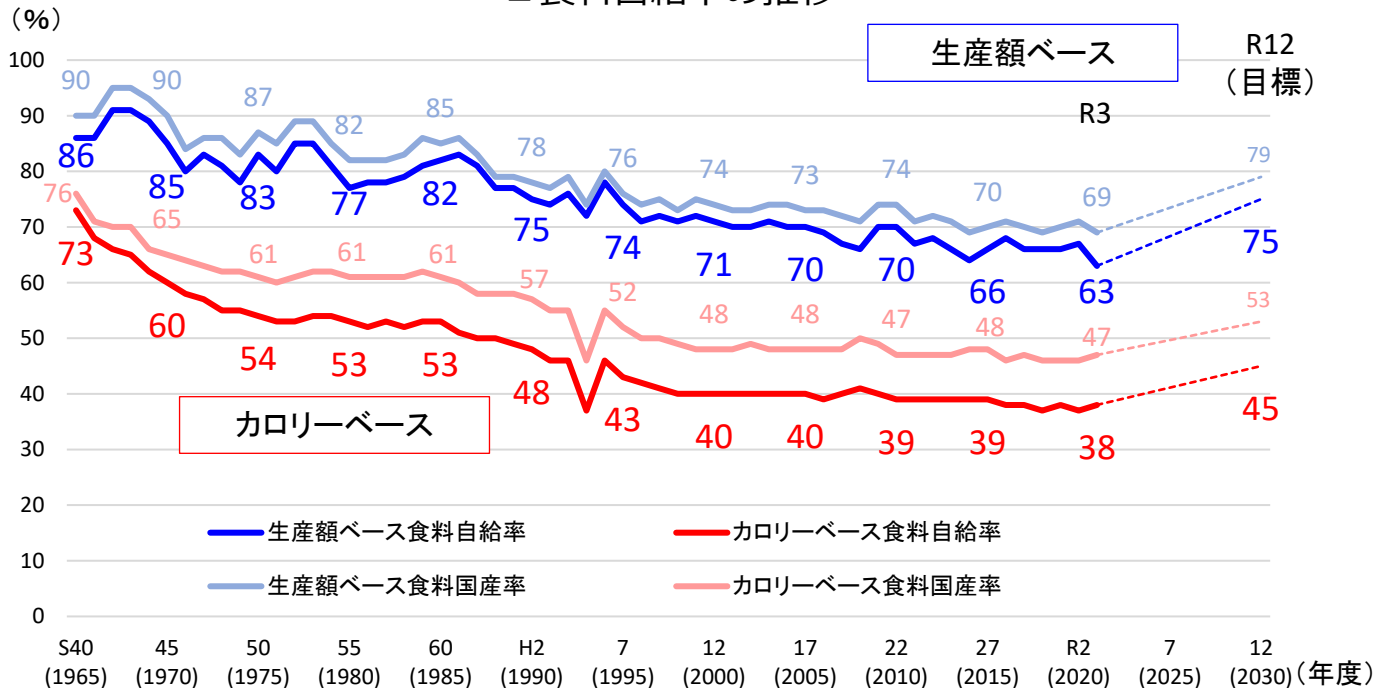


1章

食料自給率の推移

食料自給率は、長期的に低下傾向で推移してきました。

■ 食料自給率の推移



コラム 2. 都道府県別食料自給率

	カロリーベース (%)		生産額ベース (%)			カロリーベース (%)		生産額ベース (%)	
	令和元年度 (確定値)	令和2年度 (概算値)	令和元年度 (確定値)	令和2年度 (概算値)		令和元年度 (確定値)	令和2年度 (概算値)	令和元年度 (確定値)	令和2年度 (概算値)
全国	38	37	66	67	全国	38	37	66	67
北海道	216	217	211	216	滋賀	49	47	38	36
青森	123	125	241	250	京都	12	11	19	19
岩手	107	105	199	216	大阪	1	1	6	6
宮城	73	72	96	91	兵庫	15	15	38	35
秋田	205	200	163	158	奈良	14	13	23	23
山形	145	143	191	189	和歌山	28	27	110	116
福島	78	77	93	94	鳥取	61	60	135	142
茨城	66	68	122	126	島根	61	60	106	105
栃木	71	71	110	112	岡山	36	35	62	63
群馬	32	32	96	99	広島	21	21	39	39
埼玉	10	10	17	17	山口	29	24	44	42
千葉	24	24	60	54	徳島	41	41	116	118
東京	0	0	3	3	香川	33	33	92	87
神奈川	2	2	12	12	愛媛	35	34	114	112
新潟	109	111	112	111	高知	43	43	170	170
富山	76	75	63	59	福岡	19	17	36	36
石川	47	46	50	48	佐賀	72	85	136	151
福井	66	64	59	54	長崎	39	38	145	142
山梨	19	18	85	89	熊本	56	55	159	163
長野	53	51	134	129	大分	42	40	114	108
岐阜	25	24	43	44	宮崎	60	61	284	301
静岡	15	15	53	54	鹿児島	78	77	275	283
愛知	12	11	32	30	沖縄	34	32	63	64
三重	39	38	64	60					

※ 都道府県別自給率は令和2年度の値が最新値となります